

クラウド・ポストモダンERP

SCMを強くするITアーキテクチャー

ERPを**レガシー化**させない！

業務変革に対応できるシステムの実現

日本マイクロソフト、SAPジャパン、ビジネスエンジニアリング 3社の「ポストモダンERP」への取り組みの講演も公開

第1部「デジタルトランスフォーメーションを加速するためのマイクロソフトクラウドの活用」

日本マイクロソフト講演

第2部「ポストモダンERPに向けたSAPの取り組み」

SAPジャパン講演

第3部「ERP-SIからコンプレックスソリューションベンダへの変遷、これからの取り組み」

ビジネスエンジニアリング講演

第4部「ERPスリム化への取り組み」

ビジネスエンジニアリング講演

第5部「業務連携によりSCMを強くするBusiness b-ridge」

ビジネスエンジニアリング講演

ポストモダンERPに求められるITアーキテクチャー



昨今の働き方改革やニューノーマル時代に代表される
ビジネスニーズや就労環境への素早い対応

ニューノーマルでサプライチェーン見直し・デジタル化急務

「供給網見直し」7割、新常態探る 社長100人アンケート

2020/6/1 1:00 (2020/6/1 5:18更新) | 日本経済新聞 電子版

保存 共有 印刷 共有 ツイート その他

企業が新型コロナウイルスのリスクを前提とする経営のニューノーマル（新常態）を探っている。緊急事態宣言の解除を受けた「社長100人アンケート」では、国内に工場を持つ企業の7割がサプライチェーン（供給網）を見直すと回答。全体の9割がテレワークを継続するとした。自社の製品やサービスの市場が回復するには「1年以上かかる」との予測が大半だ。

アンケートは国内主要企業の社長（会長などを含む）を対象に5月25～28日にかけて実施し、132社から回答を得た。

宣言解除とはいえコロナ禍の終息には遠く、企業活動は制約を課せられたままだ。経営手法の見直しは避けられない。

2020/6/1 日本経済新聞 電子版

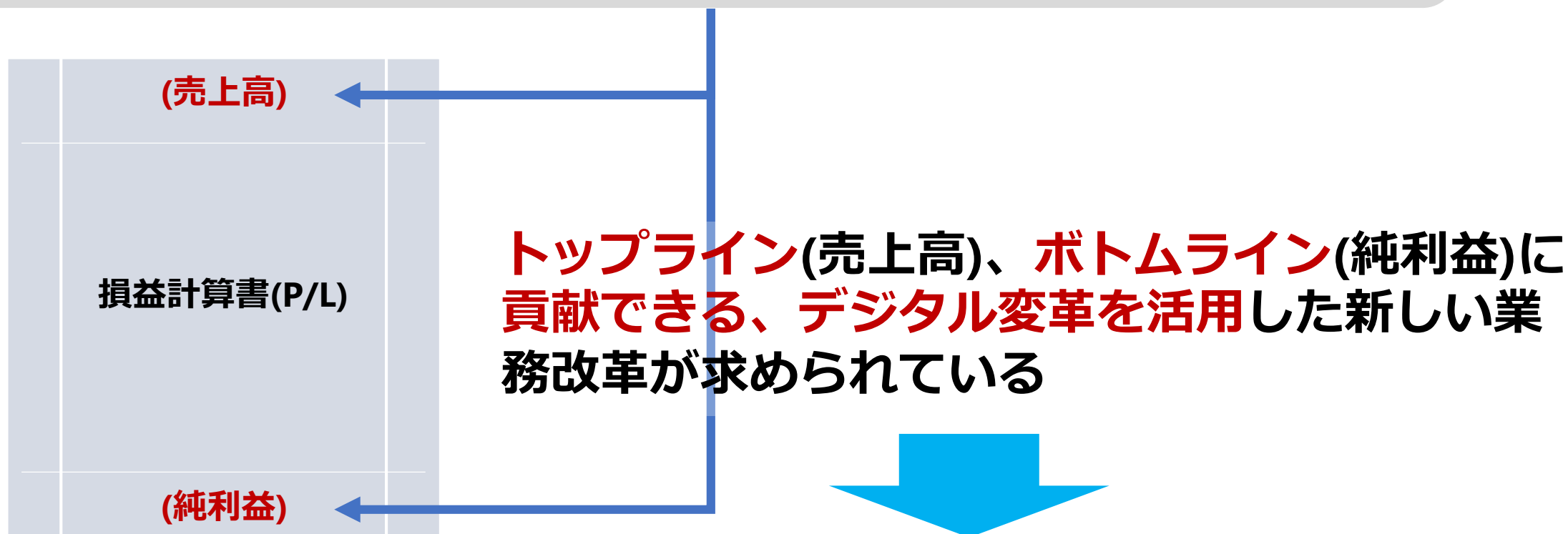
各分野で経営のニューノーマルを探る

サプライチェーン	見直す必要がある	72.1%
	危機発生に対応し柔軟に調達先を変更できるようにする	65.3
	特定国への集中を見直し分散化を進める	57.1
工場	検温の実施	75.0
	ライン間隔や作業員同士の距離の見直し	60.2
オフィス	テレワークの継続	90.9
	時差出勤・フレックス制の導入	89.4
デジタル化	投資を増やす	63.6
	リモートワークの設備・機材	87.0
	セキュリティー強化	63.6

(注)複数回答。「サプライチェーン」「工場」は工場を持つ88社対象

ポストモダンERPが求められる背景

昨今の働き方改革やニューノーマル時代に代表される
ビジネスニーズや就労環境への素早い対応

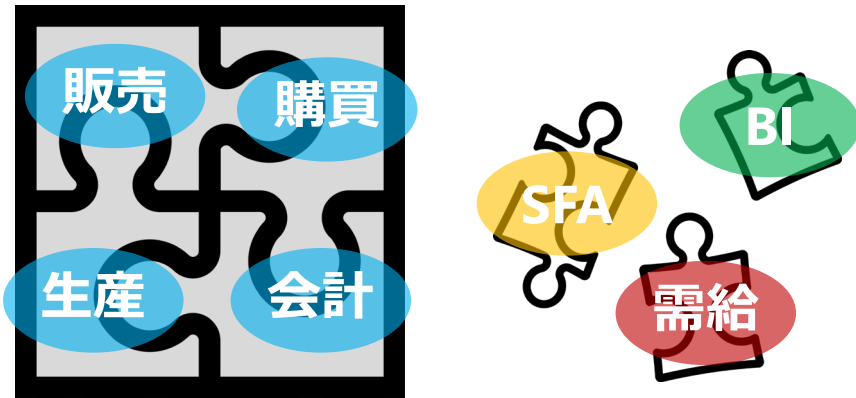


レガシーのITアーキテクチャーの延長線上では、
システムの拡張制約で短期間/工数での開発難しい

企業システムの根幹にあるERPシステム

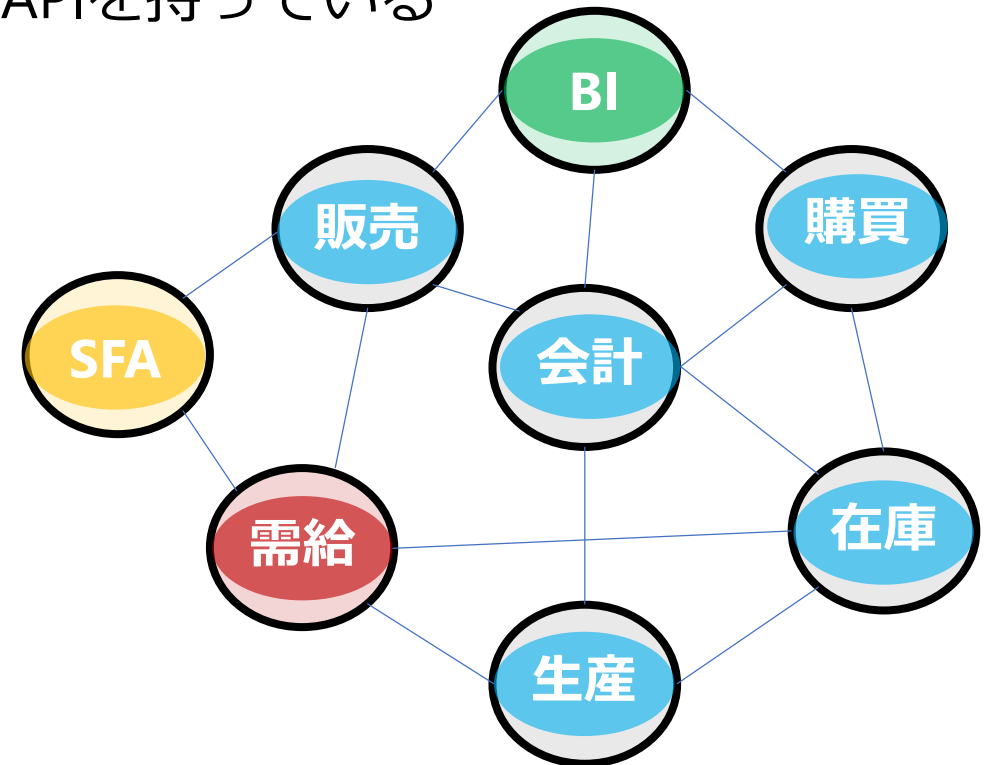
レガシーERP(従来)

All-In-One型の統合業務パッケージが多数
ワンストップで機能提供がされるが、
ビジネスニーズへの柔軟・拡張性に難が
ある



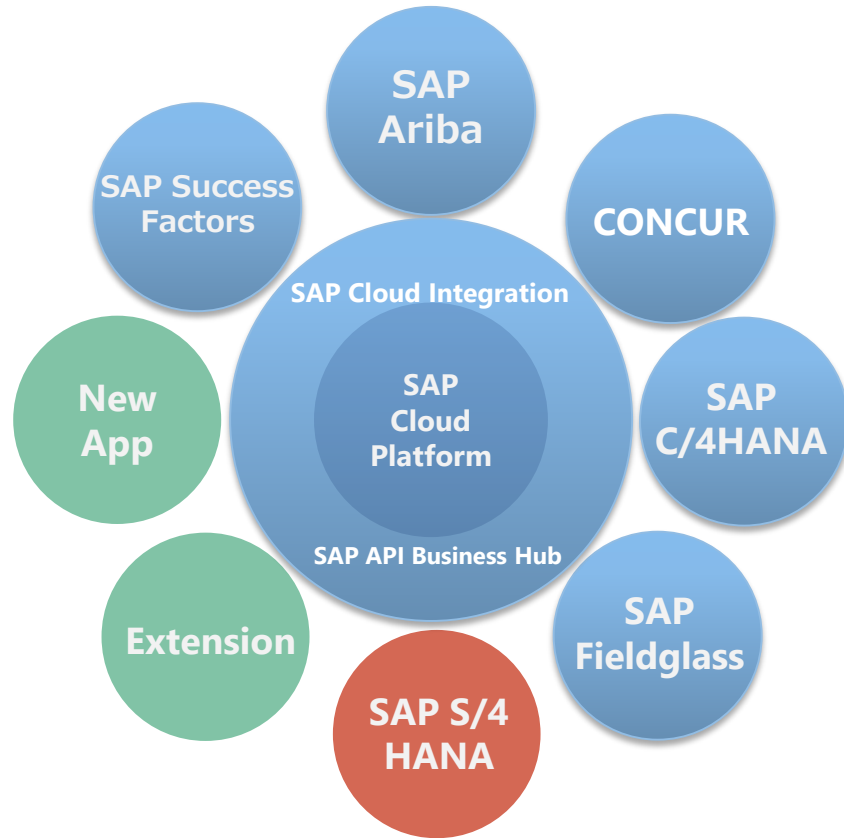
ポストモダンERP

業務単位別にサービスとして独立性が高く、
外部サービスとの連携が容易な汎用的な
APIを持っている

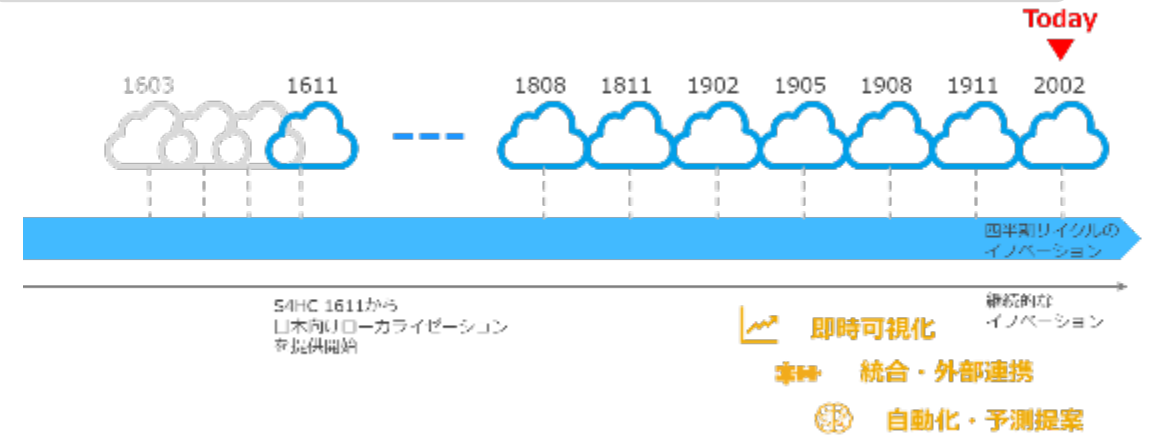


SAP S/4HANAの今

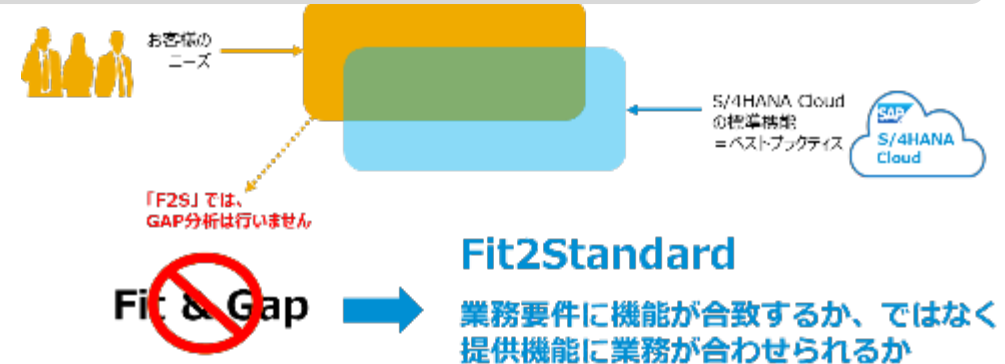
◆ビジョンを具現化するソリューション群



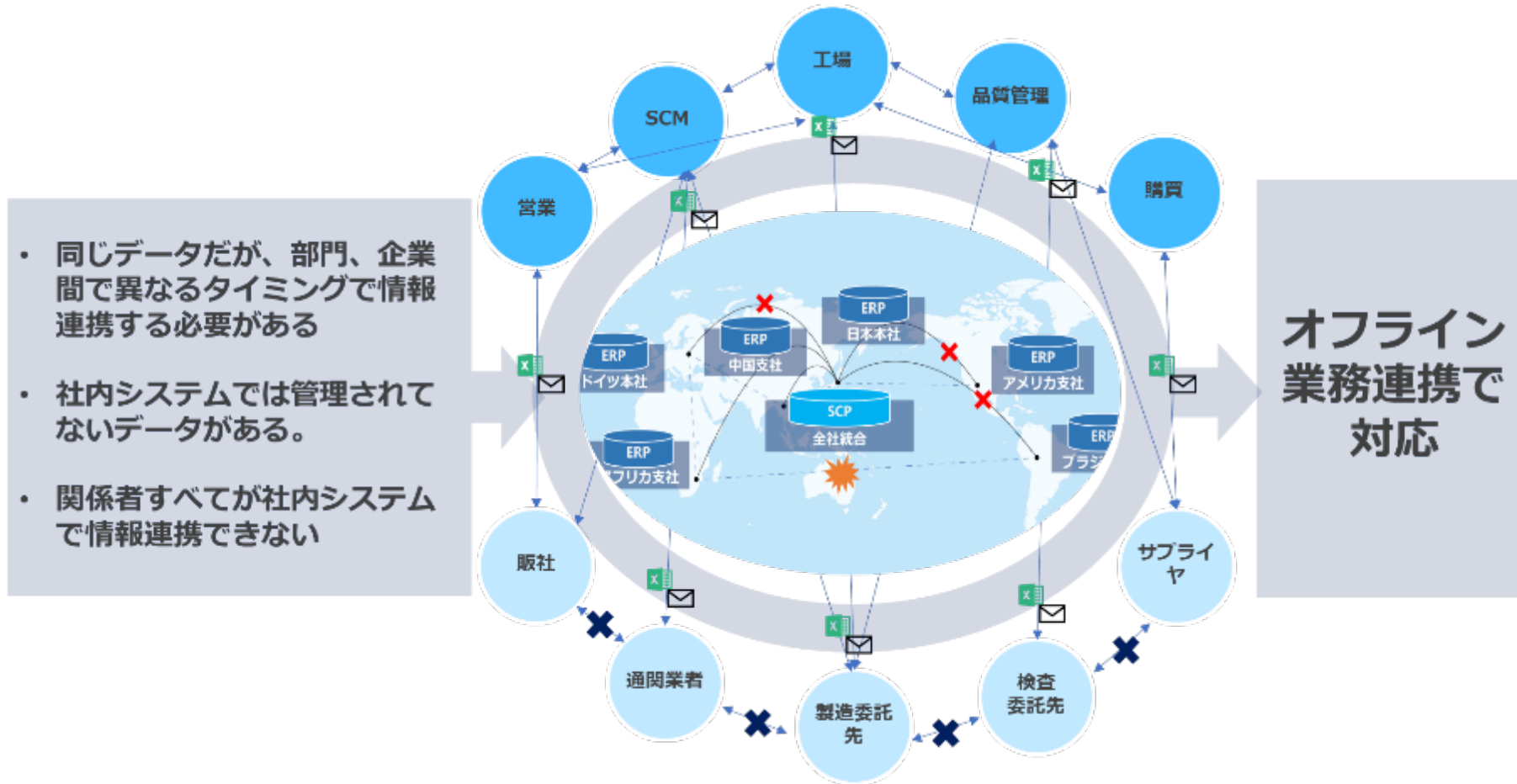
◆四半期ごとにアップグレード



◆Fit to Standard の考え方



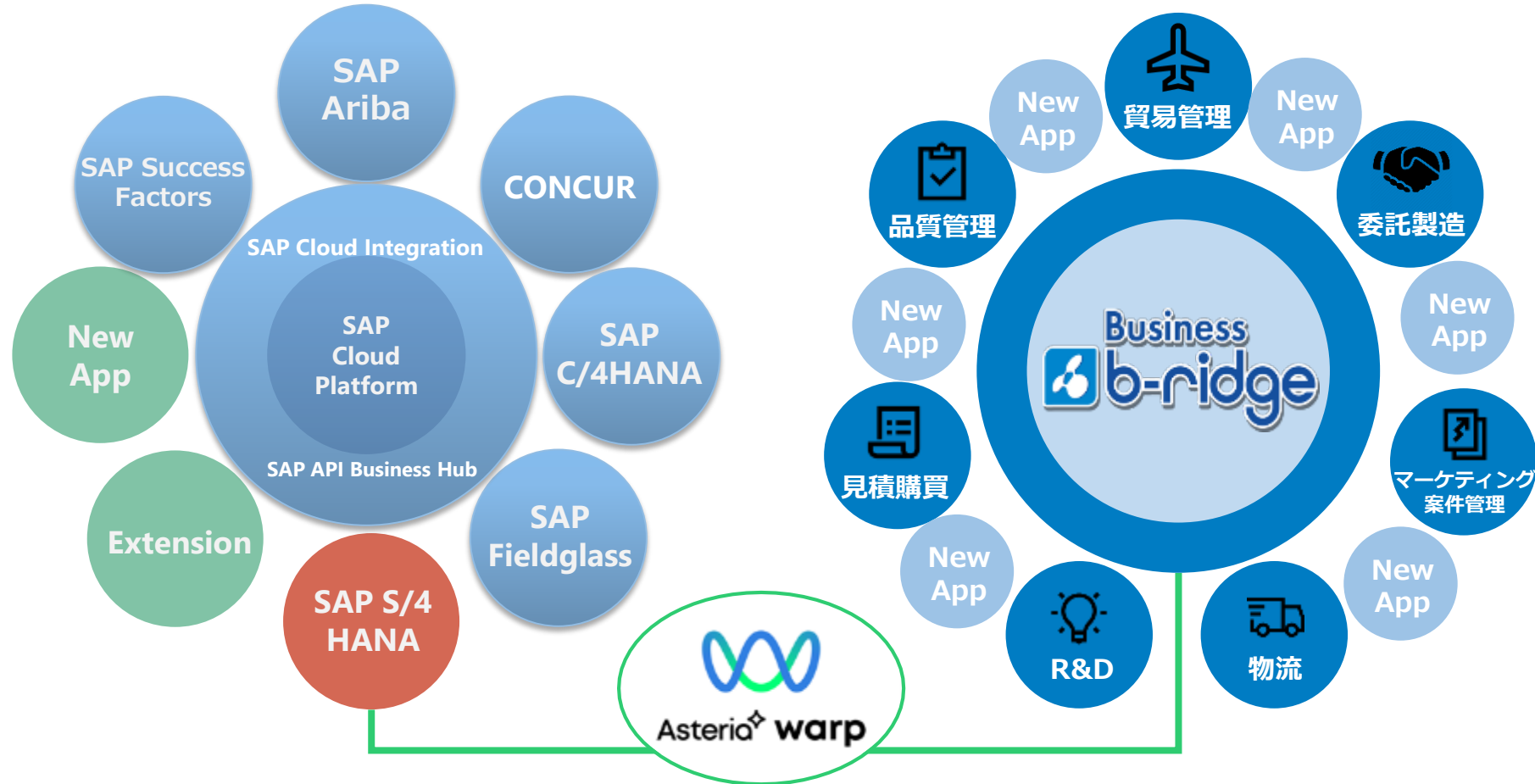
ERPだけでは対応が難しい



ERPでは実現できないビジネスニーズ対応求められるITアーキテクチャー

1. 短い期間、サイクルでの業務改善に適用できる
2. 既存や将来システムと連携してデータ資産を無駄なく活用できる
3. 周辺システムへの変更もスピーディに対応できる

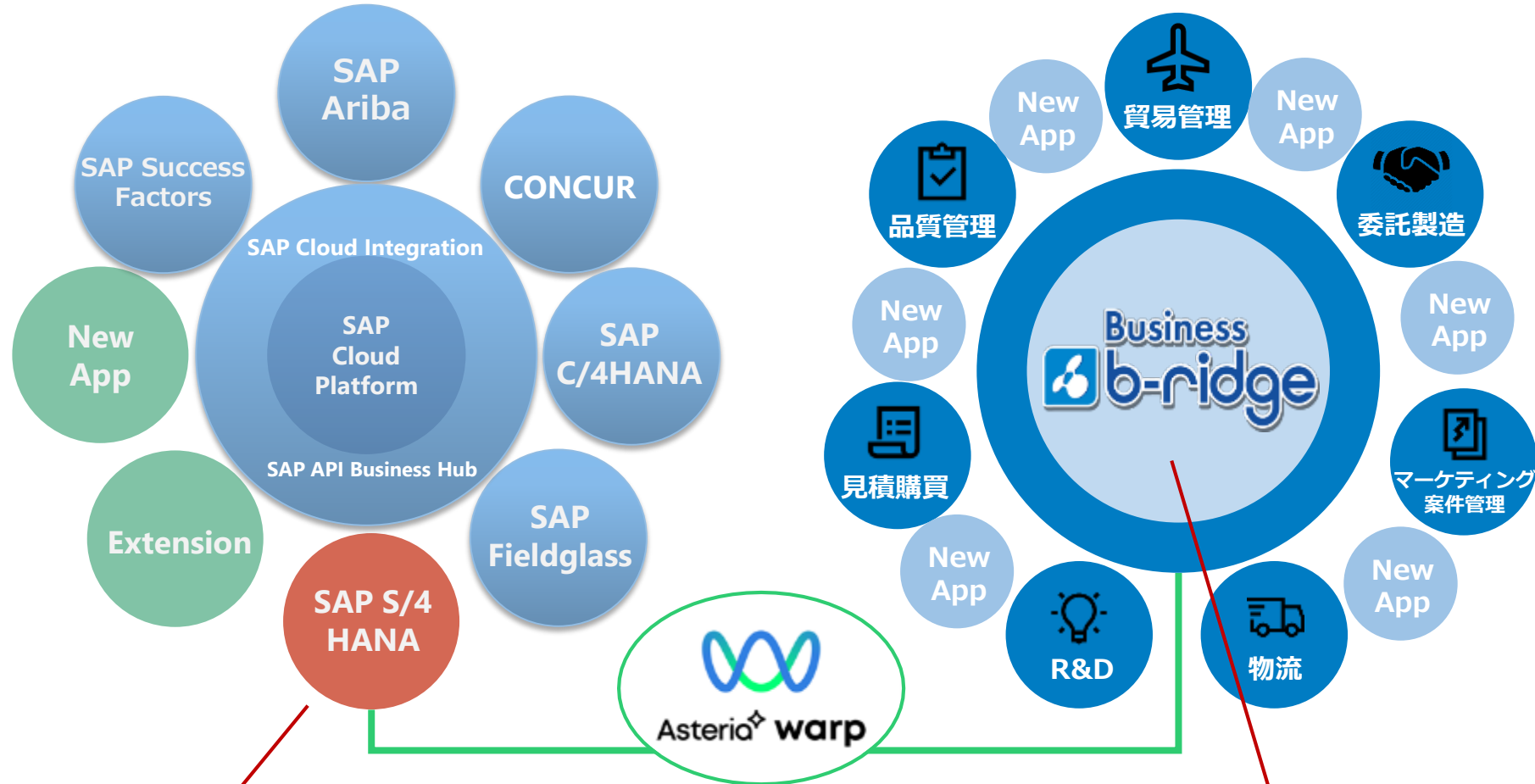
ポストモダンERPと連携する周辺システム



ERPでは実現できないビジネスニーズ対応求められるITアーキテクチャー

1. 短い期間、サイクルでの業務改善に適用できる
2. 既存や将来システムと連携してデータ資産を無駄なく活用できる
3. 周辺システムへの変更もスピーディに対応できる

ポストモダンERPと連携する周辺システム



ポイント①
公開されている標準API
を選定してそのまま利用

ポイント②
SAPとの項目マッピング
や特有のデータ形式の変
換処理を用意

ポイント③
SAPの項目に必要な業務項
目を追加して業務をシステ
ム化



Business b-ridgeの特徴

サプライチェーンにおける
業務効率化・リードタイムの短縮は
業務連携がカギに！

トップライン(売上)・ボトムライン(利益)のアップにつながる「リードタイム短縮」

①生産性の向上

作業時間が短くできれば同一時間当たりの生産性を向上させることができます。



②品質の向上

非効率な作業を減らし付加価値の高い業務に対する人員を増やすことで品質を向上させることができます。



③顧客満足度の向上

製品をお客様に届ける時間を短縮することで満足度の向上につながります。



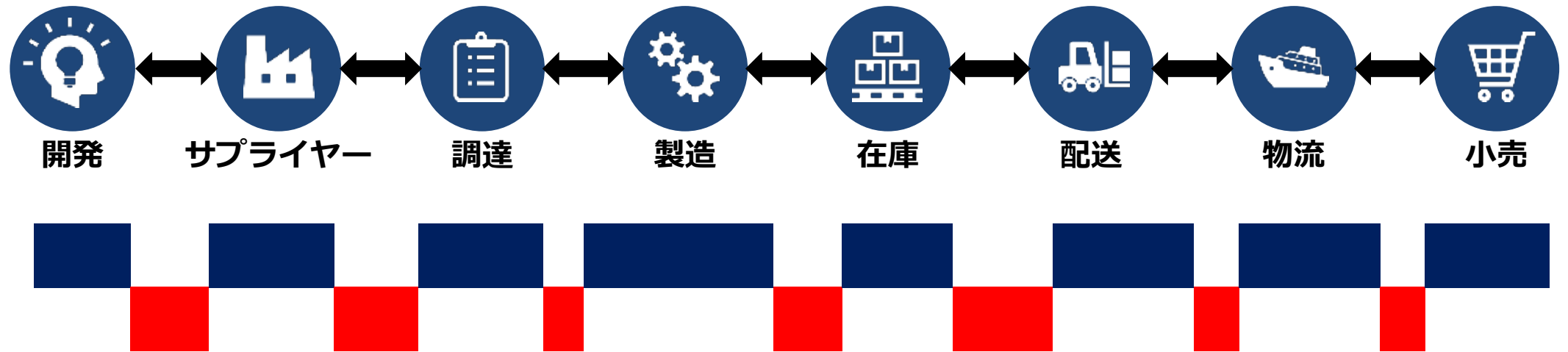
④在庫削減

受注から生産までの時間を短くできれば、確保しておく在庫を減らすことができます。



リードタイムを短縮するポイントは業務連携で発生する「停滞時間」

開発・調達(購買)・生産(製造)・配送(出荷/物流)でのリードタイム



リードタイムには製品価値につながる「業務時間」と製品価値につながらない「停滞時間」があります。
社員・部門・企業間の業務連携で多く発生する「停滞時間」を短縮することで製品の品質を落とすことなく、
リードタイムを短縮することができます。

停滞時間が発生する原因とは？



紙・メール+Excelによる運用

フォーマットの不一致やデータ管理ができていないため、情報探索や転記、類似作業に時間と労力を奪われる。



標準化されていない業務プロセス

業務プロセスが標準化されていないため、作業依頼や確認、承認でムダなやり取りや手戻りが発生する。

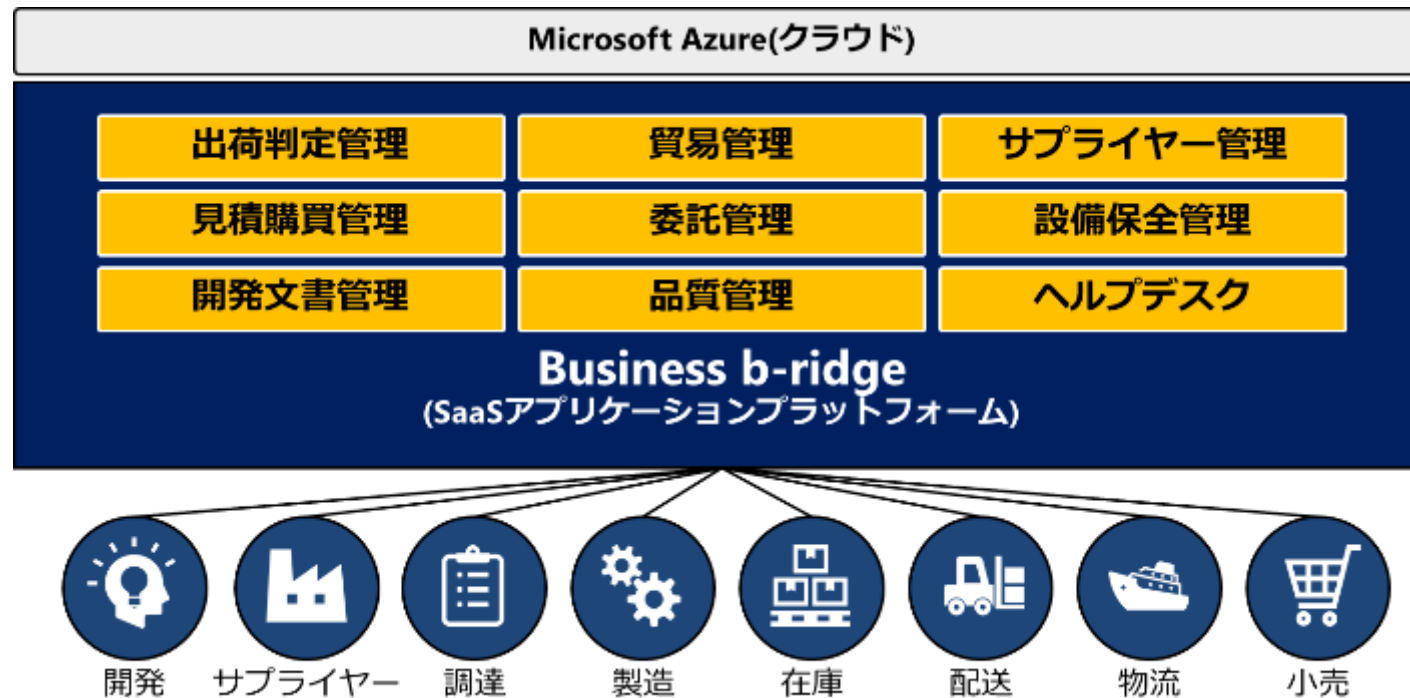


作業の属人化

作業内容が担当者しか分からず負担が集中して進捗が遅れたり、不在の場合は業務が止まってしまう。

Business b-ridgeとは？

ビジネスエンジニアリングは、この停滞時間の発生に着目し
業務連携のシステム化によるリードタイムの短縮を実現するSaaSサービスを提供しています。



Business b-ridge

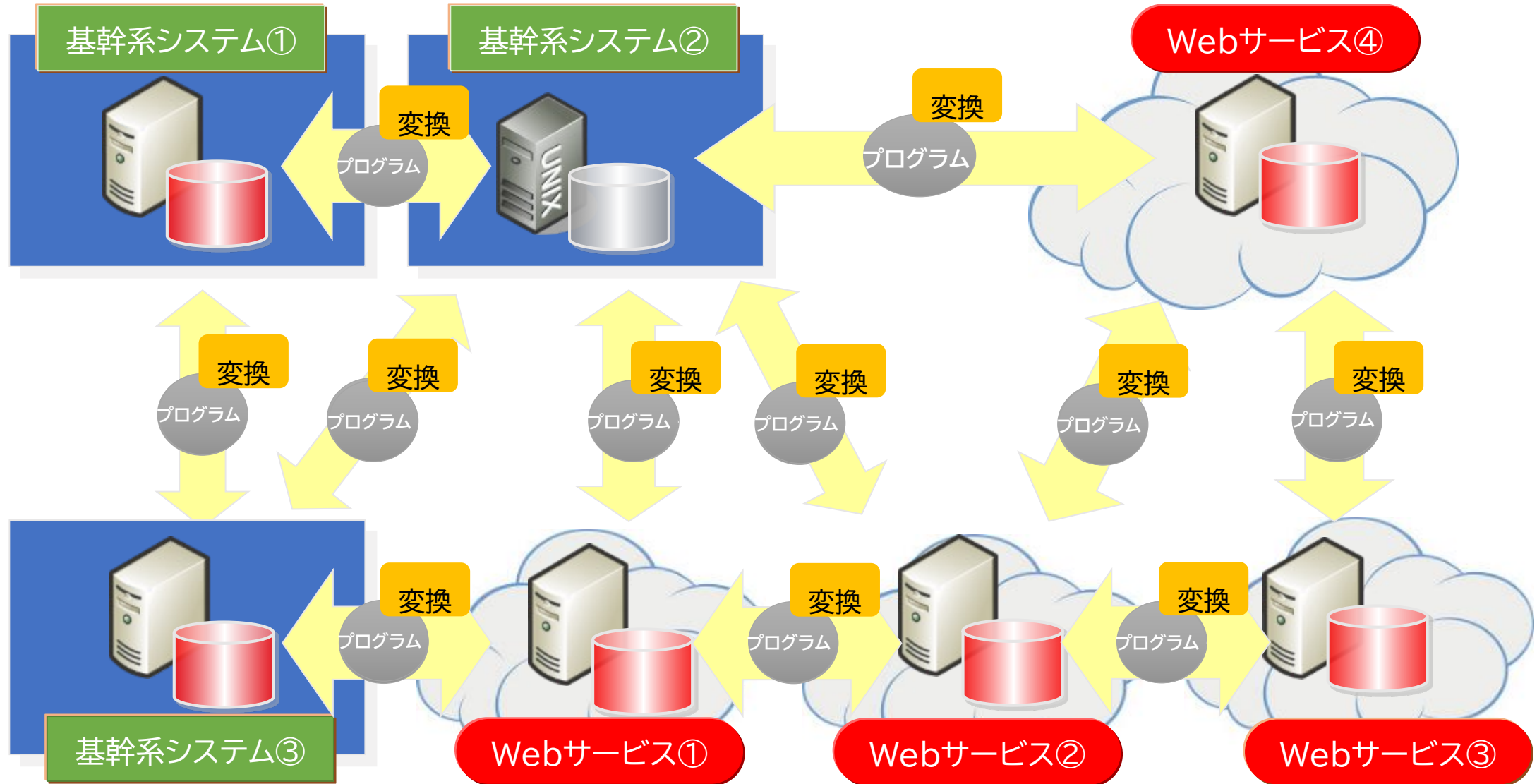
サプライチェーンの業務連携に向けたアプリケーションが簡単に作れる
SaaSプラットフォームです。



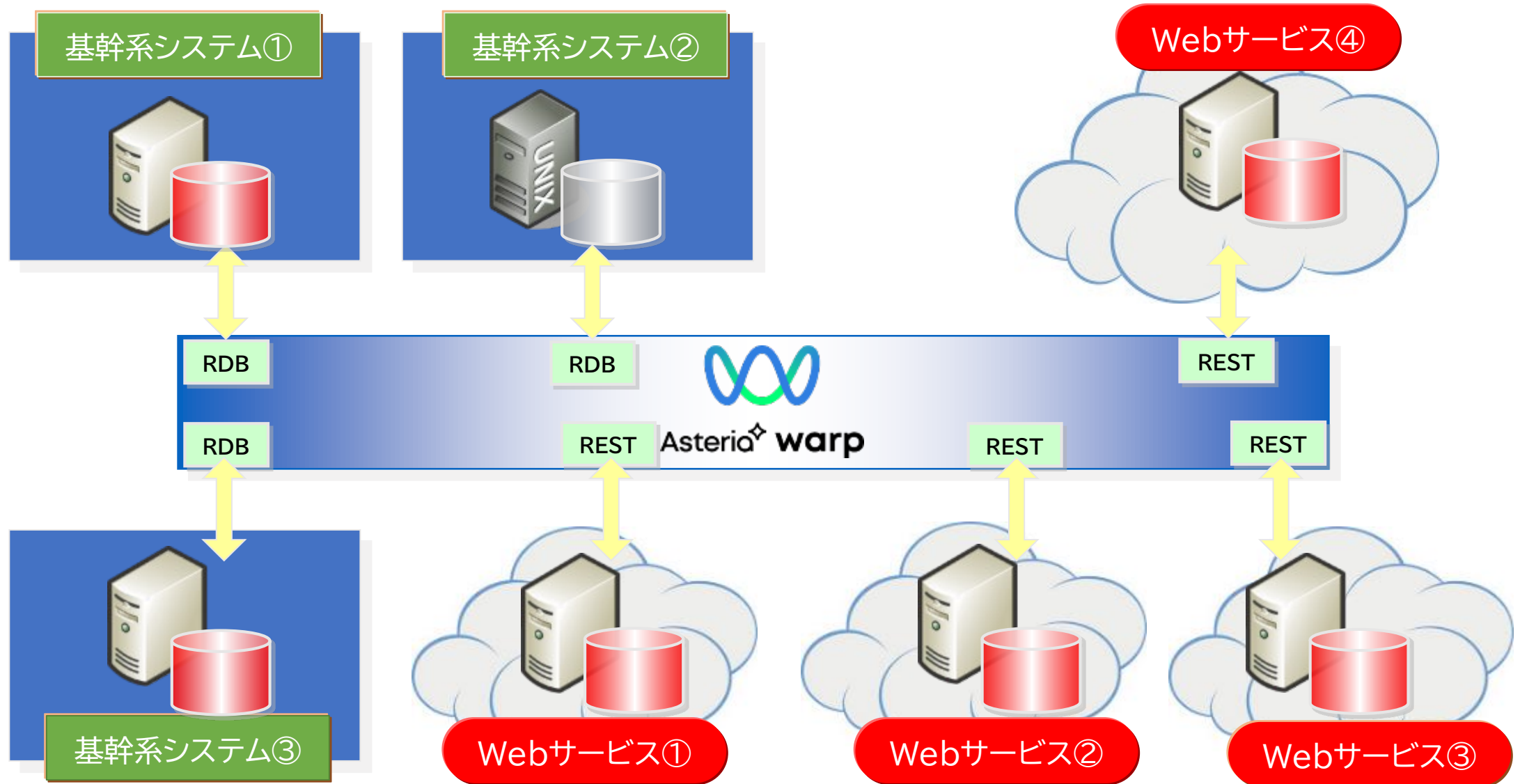
ASTERIA Warpの特徴

ASTERIA Warpは、アステリア株式会社の製品です。

システム連携の現状



ポストモダンERP時代のシステム連携



豊富なデータ連携先

データベース

- Oracle
- IBM Db2
- FileMaker
- MariaDB
- Microsoft SQL Server
- PostgreSQL
- MySQL
- Microsoft Access
- Amazon RDS
- Amazon DynamoDB
- Microsoft Azure SQL Database
- Amazon Athena
- Microsoft Azure Cosmos DB
- MongoDB
- Google Cloud SQL
- FUJITSU Software Enterprise Postgres

DWH/ビッグデータ

- Amazon Redshift
- Google BigQuery

クラウド (IaaS)

- Microsoft Azure
- さくらのクラウド
- アマゾン ウェブ サービス (AWS)
- Oracle Cloud Platform
- Google Cloud Platform

ファイルフォーマット

- CSV
- XML
- PDF
- ZIP
- GZIP
- TAR
- HTML
- MIME(S/MIME)
- JSON
- テキスト
- バイナリ
- 固定長

ネットワーク

- SOAP
- POP3/POP3S
- REST
- IMAP/IMAPS
- HTTP/HTTPS
- SMTP/SMTPS
- FTP/SFTP
- LDAP

クラウドストレージ

- Google Cloud Storage
- Microsoft OneDrive
- Google ドライブ
- Box
- Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)

SNS

- Facebook
- Slack
- Twitter
- LINE@

オフィス / グループウェア

- Microsoft Excel
- Microsoft SharePoint
- Google コンタクト
- クリプト便
- Microsoft Active Directory
- kintone
- Google カレンダー
- D³Worker
- Microsoft Office 365
- IBM Notes/Domino
- Google スプレッドシート
- POWER EGG

会計 / 人事 / 労務

- 請求管理ロボ
- PCAクラウド
- マネーフォワード クラウド経
- 業行V ERP
- SmartHR

BPM / BRMS ワークフロー

- BIZ PLATFORM
- XPLANNER/FL
- intra-mart
- InnoRules

SFA / CRM

- Microsoft Dynamics CRM(365)
- Salesforce
- クライゼル

ERP

- SAP ERP
- Microsoft Dynamics NAV(365)
- Microsoft Dynamics AX(365)
- RobotERP ツバイン
- NetSuite
- ServAir

EDI

- JFT/SaaS
- Biware

BI

- Tableau
- Dr.Sum EA

マーケティング

- Google Analytics
- Oracle Eloqua
- Sansan
- Google 広告
- uSonar
- 名刺de商売繁盛
- Marketo
- Data-Master

AI/RPA/OCR

- Amazon Rekognition
- Google Cloud Vision
- 活文 Intelligent Data Extractor
- Azure Cognitive Services
- BizRobo!

※オプションを含む

ノン・プログラミングでのシステム連携開発

- ドラッグ&ドロップとプロパティ設定のみの”ノン・プログラミング”開発環境
- 200種類以上の機能をコンポーネントとして用意

① コンポーネントを選択

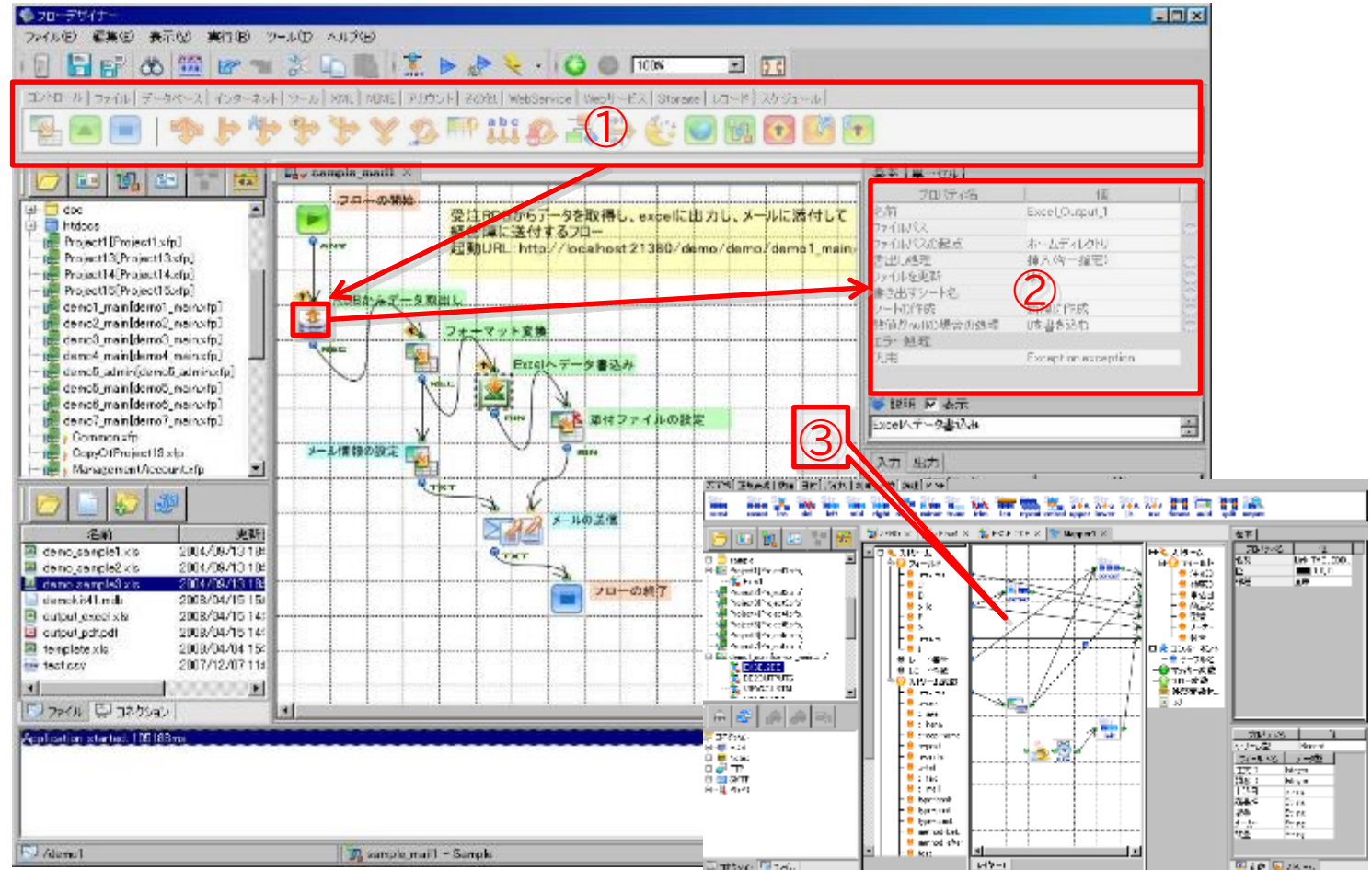
必要な処理をアイコン化した
コンポーネントをドラッグ&ドロップ
してつなげていくことでフローを作成

② プロパティを設定

コンポーネントの詳細はプロパティで行う

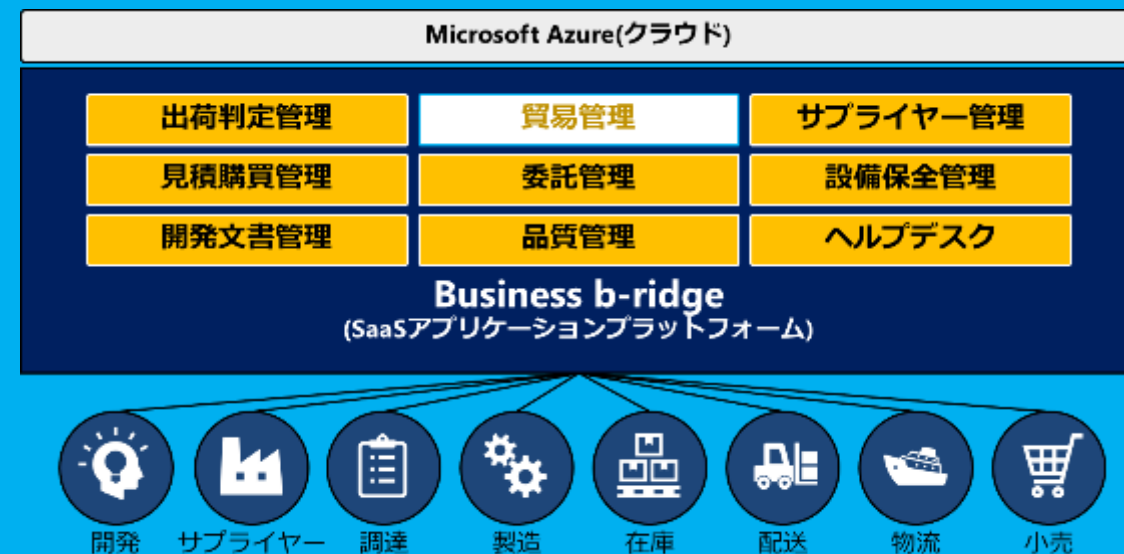
③ マッピング

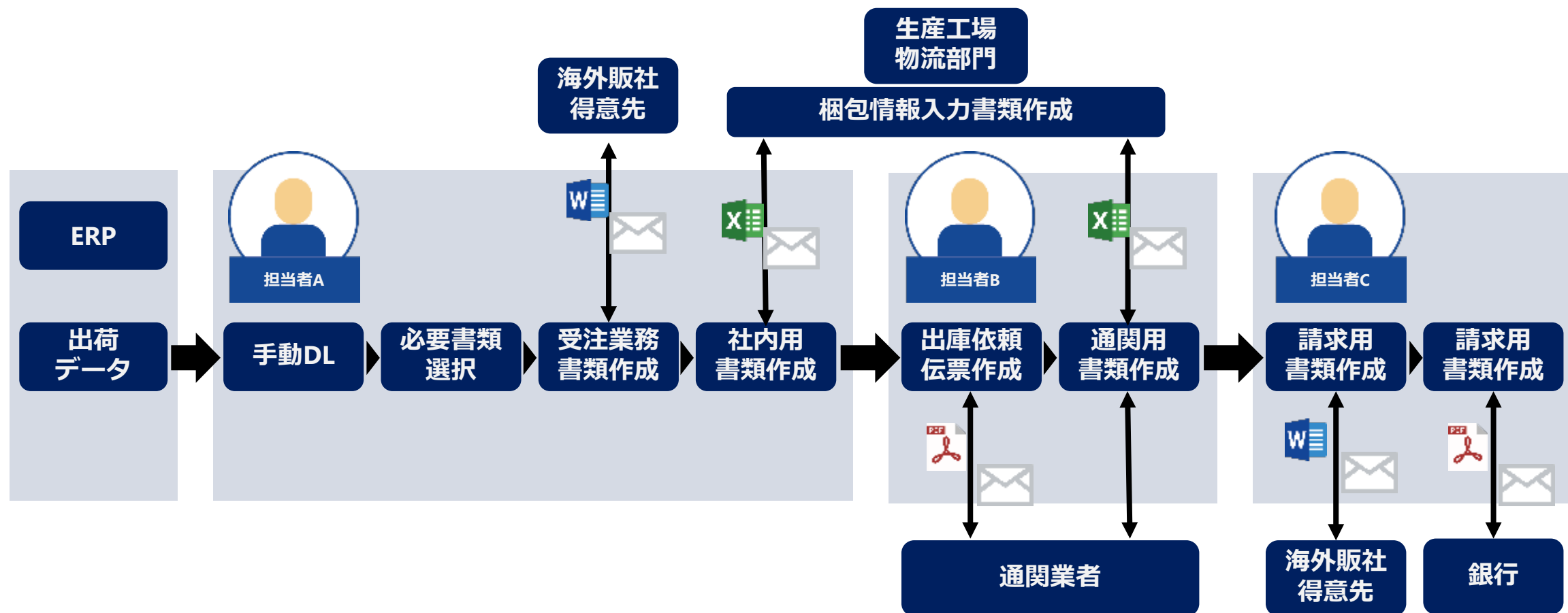
データの変換はマッパーコンポーネントの
配置と、マッピング画面で行う



サプライチェーンの業務連携における停滞時間の
発生しやすい運用と改善例のご紹介

「貿易の輸出に伴う書類作成業務」

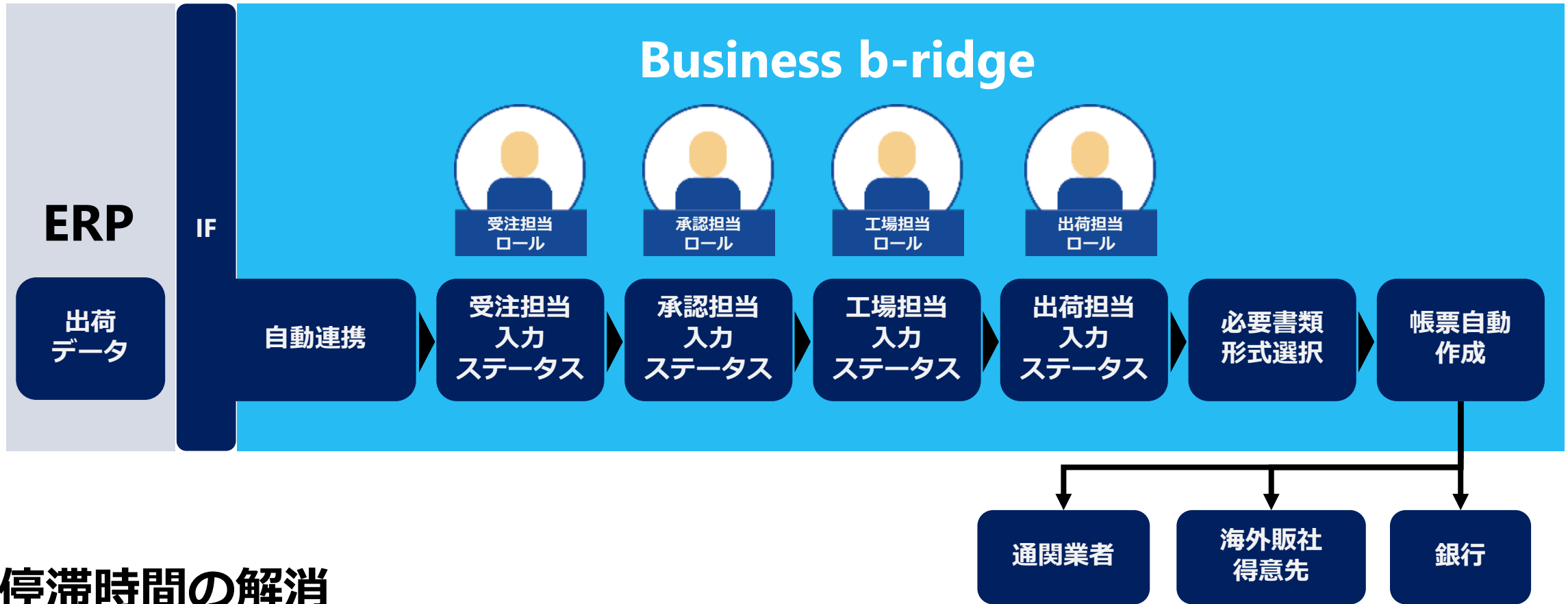




【貿易の輸出に伴う書類作成業務】

貿易の輸出に伴う書類作成は部門・企業間で連携する必要がありましたが、作成される書類の種類も多く、内容も出荷物によって違っていました。そのため、業務プロセスが複雑化しやすく、多くの停滞時間が発生していました。

Business b-ridge導入後



停滞時間の解消

- ①書類作成のプロセスを標準化し、作業進捗が見える化
- ②複雑な情報をマスタ管理し、書類作成を自動化して脱属人化
- ③出荷データに紐づけた必要書類と作成のやり取りを一元管理

DEMO

Business b-ridgeの導入例

Business b-ridgeで課題を解決した事例

倫理指針への柔軟な対応を実現する
倫理・ボランティアシステムを構築



**第一三共株式会社
アステラス製薬株式会社**

開発プロセスのスピード化
と監査・査察対応の効率化



**コニカミノルタ株式会社
(ヘルスケア事業本部)**

貿易帳票の作成・管理業務の一元化



**中外製薬株式会社
(海外営業推進部)**

Business b-ridgeで配送進捗を管理



日本メジフィジックス株式会社

予約/回答業務効率化と
顧客サービスレベル向上



ANAセールス株式会社

輸出業務の見える化
とデータの一元管理



ATTO株式会社

Business b-ridge 導入事例 サプライチェーン



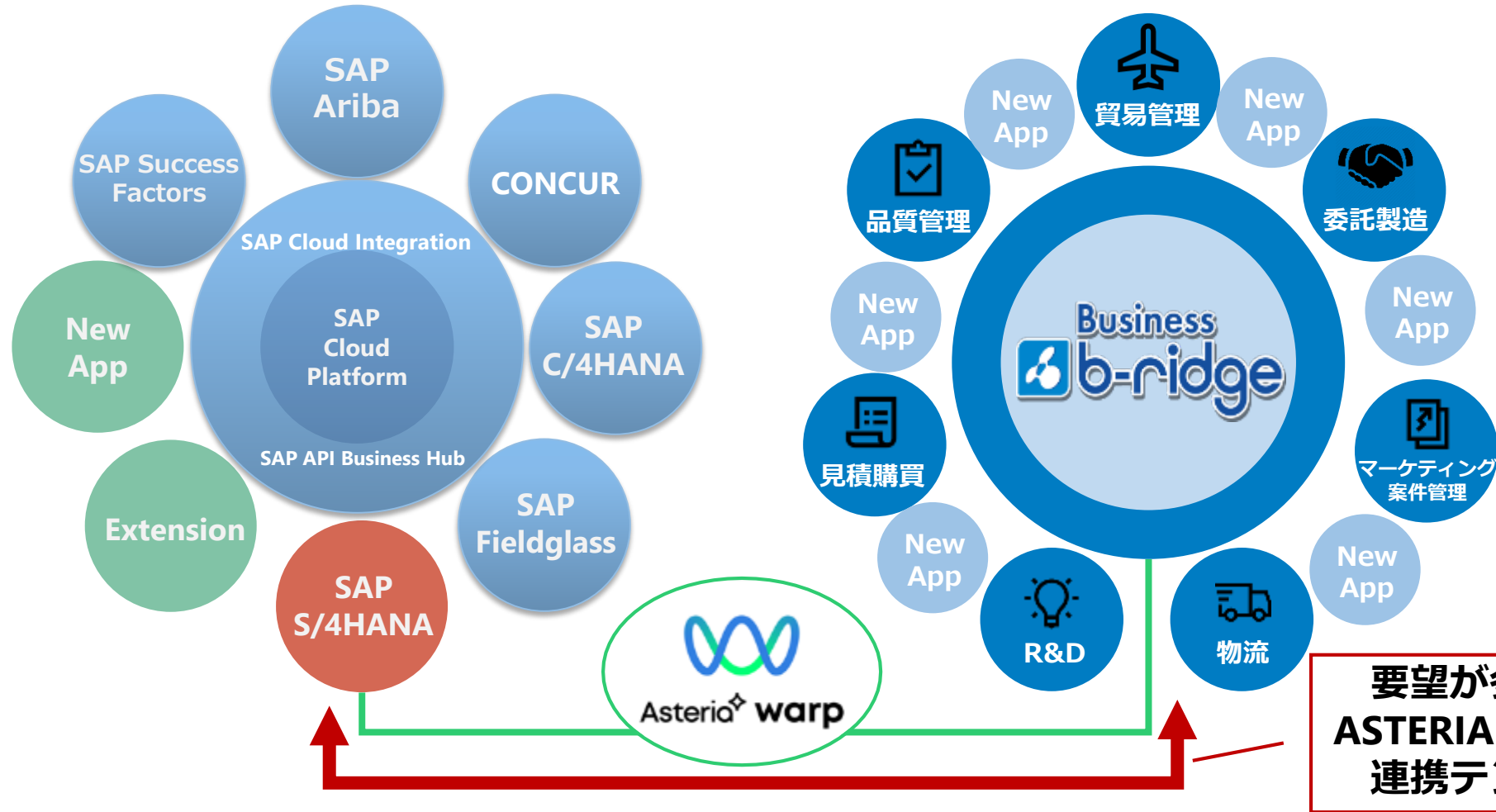
業務領域	業種	対象範囲	利用部門	導入効果	連携システム
購買管理	消費財	取引先リスクアセスメント評価	購買部門、仕入先	業務効率化 情報デジタル化に伴う見える化 属人性の排除	SAP ERP
	化学	見積管理	依頼部門、購買部門、サプライヤー	購買プロセス見える化・内部統制強化 サプライヤー交渉情報の一元化 事業部横断での業務プロセス標準化	SAP ERP WFエンジン
	流体加工機器	引合・委託先購買管理	購買部門、営業部門、仕入先	業務効率化 情報デジタル化に伴う見える化 属人性の排除 ※既存マニュアル業務ではボリューム的に回らない	基幹システム
製造委託管理	製薬	製造委託連携	生産部門、品証部門、外部倉庫、委託先製造部門、委託先品証部門	情報共有によるSCM業務のスピードアップ 管理部門の省力、誤配信・誤入力の防止、情報精度のチェック	SAP ERP
品質管理	製薬	品質保証 監査・CAPA管理	本社品質保証部、工場品質保証G	苦情情報のトレースのデジタル化による査察対応の効率化 顧客提供情報の精度向上	なし
	製薬	製品苦情報告	MR、本社品質保証、工場品質部門	苦情情報のトレースのデジタル化による査察対応の効率化 顧客提供情報の精度向上	なし
	製薬	製品苦情報告	MR、本社品質保証部、工場品質部門	旧システムリプレイス、苦情情報のトレースのデジタル化による査察対応の効率化、顧客提供情報の精度向上	人事管理 営業システム(施設情報)

Business b-ridge 導入事例 サプライチェーン



業務領域	業種	対象範囲	利用部門	導入効果	連携システム
出荷管理	製薬 日本メジフィジックス	輸送状況情報提供サービス	物流部門、運送会社、営業部門	医薬情報担当者（MR）への配送情報共有による顧客サービス向上	フィーチャーフォンサイト(PJで開発)
	製薬	GQP出荷管理	品質保証部門	査察対応の効率化 付帯業務の削減	SAP ERP
	製薬	出荷情報共有	物流部門、運送会社	運送会社との情報共有効率化	mcframe
物流管理	流通	輸入貨物トレース店着管理	海外拠点物流部、通関業者、本社貿易管理部	輸入業務の進捗状況見える化 社外含めたプレーヤーの情報一元化	基幹システム
	商社	石油類物流管理	商社（営業部門） 社外：発注元 社外：ターミナル 社外：仕入先	石油類の物流情報の可視化 （従来は、メール＆FAX）	なし
貿易管理	製薬 中外製薬	輸出業務情報管理・帳票作成	輸出部門、工場業務G	各案件ステータスの見える化を実現 情報管理が容易になった貿易書類作成プロセスの効率化、関連データ及び書類を一元管理	SAP ERP
	精密機器	輸入管理システム	国内物流管理部門 （本社・グループ会社）	旧システムリプレイス 法規制対応(コンプライアンス)	基幹システム 人事システム NACCS
	製薬	貿易情報管理 （輸出・輸入管理）	貿易管理部門、サプライチェーン部門、フォワーダー、グループ会社（販社）、財務部門	各案件ステータスの見える化を実現 貿易書類作成プロセスの効率化 電子保存帳簿法対応	SAP ERP SCP
引合管理	空運 ANAセールス	代理店予約受付管理	マーケティング部、代理店各社	情報共有による業務スピードアップ 付帯業務削減による効率化 情報管理(コンプライアンス)	CRM：Oracle COD
	情報	案件管理	営業、プリセールス、PM	最新情報の集約・見える化	なし

まとめ



レガシー化させないポストモダン時代のシステム導入成功のポイント

1. 業務サイドのメンバー主導でシステム導入が進められる
2. システム連携を手軽にして、業務データ活用を推進できるようにする

すぐにはじめられます！

お問い合わせ



Business b-ridge のホームページ
でお試しボタンをクリック

フォームに必要項目
をご記入ください。

担当者がフォーム
内容からご対応します！

<https://www.businessbridge.jp/>へアクセス

30日経過後、自動的に課金されることはございません。ご安心してお試しください。